



視覚障害者とインクルーシブ教育

教科・分野 [福祉・UD・道徳・家庭・職業・生き方・地域学習]

学年 [小4～中3] 講座時間 [45分～100分] 実施場所 [各学校]



内容

(1) ねらい

- ・視覚障害者の見え方や生活での問題点、白杖について知る。
- ・視覚障害者の誘導の仕方について実習を通して考える。
- ・目が悪くても、コンピュータ・スマホを利用し、工夫すると学習も仕事もできることを知ってもらう。障害がある人もない人も共に生活する社会では何をしたら良いか考える。

(2) 活動内容（授業例）

- ・45分～50分（1コマ）：座学＋（代表の子の体験）
- ・90分～100分（2コマ）：座学＋ワークショップ（白杖を実際に触れる、白杖クイズ、視覚障害についての絵本紹介等も含む）

【座学で伝えたいこと】

- ・子供の素直な感性で、障害を知り、接して欲しい。
- ・視覚障害者は全盲や様々な見え方の弱視があること。
- ・視覚障害者の誘導の仕方を先生が教えるのではなく、体験から考えて欲しい。
- ・スマホは見えなくても使え、生活や学習に役立つこと。
- ・学習と体験から、障害者に自然に声を掛けられる人になって欲しい。

備考

- ・申込みは1か月前までにお願いします。申し込み後、打合せを行い、資料を作成します。
- ・授業時間や内容は要望に応じて対応可能です。
- ・クラス単位（教室）と学年単位（体育館等）どちらでも対応可能です。
- ・学校が用意するもの：パソコンとプロジェクター。全盲体験のアイマスクではなく、弱視体験できるメガネなどがもしあれば、用意をお願いします。目をつぶっての体験も可能なので、なくても構いません。
- ・市内全域対応可能ですが、公共交通機関を使用できることが条件となります。

団体紹介

中村 雅俊

1961 年生まれ。浜松市内の高校を卒業し、大学では理学部で化学を専攻。元県立高校教諭（2022 年退職）。40 歳の時、網膜色素変性症を発症し、視野狭窄や夜盲などが進行するが、周りのサポートや生活の工夫で 60 歳まで勤務。現在は、外国にルーツのある子供に日本語支援する NPO に所属。趣味は、語学（現在スペイン語を学習）、パン作り、ピアノのコンサート、古典文学（万葉集など）。

お問い合わせは

浜松市教育委員会教育総務課まで 電話 053-457-2401